

成果の説明書

(氏名) 森田 稔	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 【教育・研究活動】</p> <p>➤ 教育： 2018年度の講義では、「初年次ゼミ」、「環境経済学」、「計量分析/観光の計量経済学」、「グループ研究」、「環境政策論」、「現代経済学」を担当した。</p> <p>➤ 研究活動： 1) <u>観光資源としての地熱発電所が地域社会にもたらす経済効果に関する分析</u> 地熱発電所がもつ観光資源としての一面に着目し、地熱発電所への観光誘致が地元地域の経済にもたらす経済波及効果と雇用効果について産業連関分析の手法を用いて、共同研究の下、推計を行った。分析の結果については、以下の報告書にてまとめた。</p> <p>森田稔・有村俊秀・功刀祐之（2018）「観光資源としての地熱発電所が地域社会にもたらす経済効果に関する分析：産業連関分析を用いた経済波及効果と雇用効果の推計」、『持続可能な地域経済発展のための社会基盤の研究：環境産業と社会基盤整備の関係について』、日交研シリーズ A-716、pp.35-56.</p> <p>2) <u>家電エコポイント制度によるエネルギー利用のリバウンド効果の検証</u> 世帯レベルのサーベイ・データを用いて、省エネルギー・タイプのエアコンへの買い替えが、設定温度（夏の設定温度を28℃以上にする、冬の設定温度を20度以下にする）や不必要なエアコンの利用といった人々が実施可能な省エネルギー行動の面においてどの程度の rebound effect を引き起こしていたかについて、共同研究の下、実証分析を行った。分析結果については、「RIEEM 領域横断ワークショップ」（2019年3月12日@早稲田大学）にて報告した。</p> <p>3) <u>世帯レベルでの節電に関する追跡調査</u> 2018年と2019年にかけて東京と大阪の一般世帯を対象に、節電に関する追跡調査の1回目のアンケート調査を、共同研究の下、作成・実施した。</p> <p>4) <u>宗教的要因が医療者の職業上の満足度・達成度と感情労働に及ぼす影響</u> 医療者（医師と看護師）の仕事上の満足度・達成度と感情労働に対して宗教的要素がどのような影響をもたらしているのかを、統計的手法を用いて、共同研究の下、分析した。分析結果については、学内のディスカッションペーパーとしてまとめた。</p> <p>熊澤利和・森田稔・郷堀ヨゼフ（2018）「宗教性が医療者の職業上の満足度・達成度や感情労働に及ぼす影響分析」、DISCUSSION PAPER SERIES、No.15.</p> <p>(2) 【学内業務】 高校への出前講義（2回）とオープンキャンパス時の模擬講義を担当した。 ラジオ高崎「ラジオゼミナール」（2018年9月21&28日）を担当した。</p>	

2 その他の事項

【社会貢献等】:

公益財団法人 環境科学会 編集委員 (電子化担当幹事)

第 20 回 ぐんま環境フェスティバル 学界基調講演 (2018 年 10 月 13 日)

3 次年度以降の計画・抱負

➤ 教育:

2018 年度の授業評価アンケートの結果を基に、より充実した講義内容にする。

➤ 研究活動:

昨年度より継続している研究を進めるとともに、学術雑誌への投稿を行う。

今年度より科研費若手研究「高齢化社会に適した節電政策に関する実証研究」(19K20510) の代表者として、研究を推進していく。